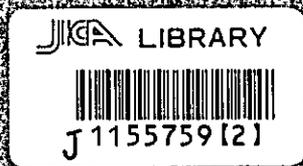


中部地域における基礎調査 第2部

JICA ヴィエトナム事務所
中部地域における基礎調査

第2部 クアン・ビン省における貧困評価調査



平成11年3月31日

IC Net, Thailand

JICA
123
36
VTO
RARY

JICA ヴィエトナム事務所
中部地域における基礎調査

第二部 クアン・ビン省における貧困評価調査

平成 11 年 3 月 3 1 日

IC Net, Thailand



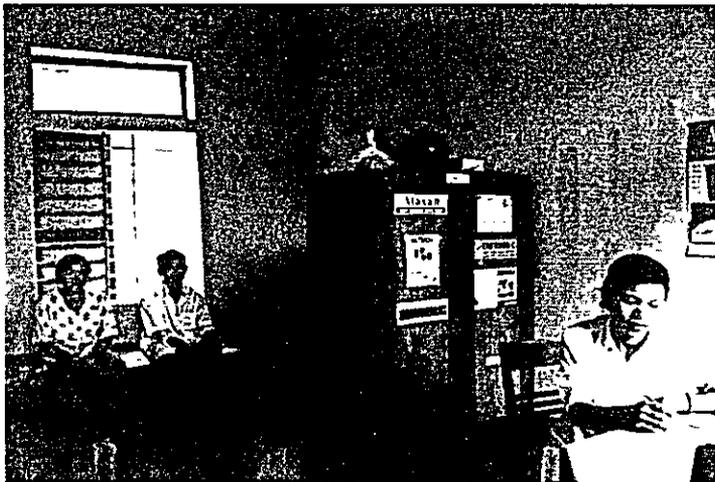
1155759 (2)



チュオン・シュアンコミュニティ、キエット・タン村



キエット・タン村の医療センターの前にある看板：
マラリアの治療費が無料であることを示している



医療センターの診療室



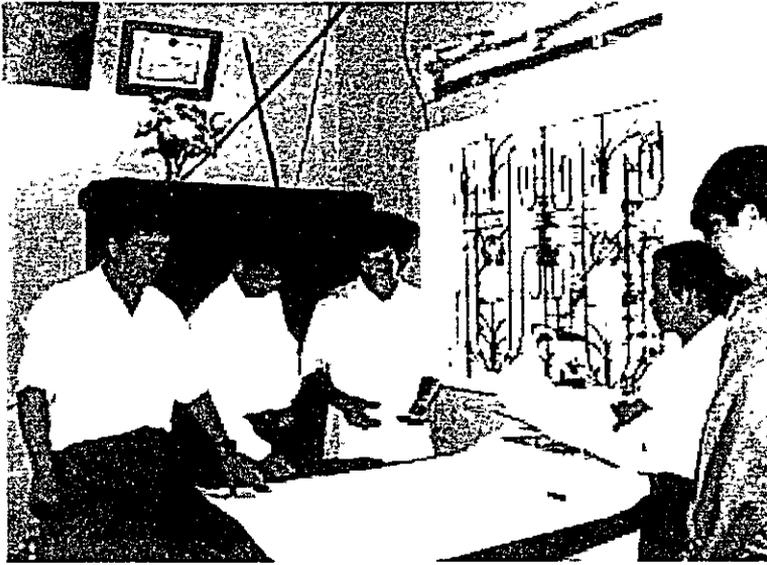
キエット・タン村の医療センター



キエット・タン村の小学校



キエット・タン村の小学校の学習風景



ナム・ハイ村での富ランキング



ナム・ハイ村でのインタビュー対象世帯



山岳部の少数民族であるヴァン・キウ族

第二部 クアン・ビン省における貧困評価調査

目次

	ページ数
1. 背景	
1-1 現地調査の目的	1
1-2 構成調査員	1
1-3 調査日程	2
1-4 調査手法	3
2. 調査対象地域	
2-1 地域の選定	4
2-2 クアン・ビン省の概要	5
2-2-1 クアン・ビン省の社会経済状況	5
2-2-2 クアン・ビン省の開発方針	6
2-2-3 クアン・ビン省の援助優先プロジェクト	7
2-3 郡別・社会経済指標（1998年）	9
2-4 クアン・ニン郡の概要	10
2-4-1 チュオン・シュアン コミューンの概要	10
2-4-2 バン・ニンコミュニティの概要	12
3. 貧困の定義	
3-1 ヴィエトナム国における貧困評価方法	14
3-2 クアン・ビン省における貧困状況	17
3-3 貧困に対する住民の認識	18
3-3-1 経済社会階層の分類	18
3-3-2 貧困層の特徴	19
4. 貧困の原因	
4-1 生産性の低い農業	21
4-1-1 生産性の低い土地	21
4-1-2 単一作物栽培への依存	22
4-1-3 農業普及支援活動の不足	23
4-1-4 家庭内労働力不足	24

4-2	不安定で低い所得と不十分な財源	
4-2-1	限られた所得向上活動	25
4-2-2	不十分な財源	26
4-3	劣悪な保健衛生	
4-3-1	一般的な病気	29
4-3-2	低水準の医療サービスとアクセスの難しさ	29
4-3-3	健康に関する不十分な情報と知識	31
4-3-4	貧しい栄養と不十分な食料	31
4-3-5	衛生状況	32
4-3-6	労働条件・環境	32
4-3-7	家族の数	33
4-4	不十分な教育へのアクセス	
4-4-1	教育の予算源	34
4-4-2	低い出席率と低い教育の質	34
4-4-3	貧困と低出席率の関連性	35
4-5	戦争の影響	
4-5-1	女性世帯主	36
4-5-2	病気	36
4-5-3	不発弾の恐れ	36
5.	結論	
5-1	援助の機会と制約	37
5-2	開発の課題	38
5-3	JICA の将来の取り組み	39
5-3-1	長期的な取り組み	40
5-3-2	中・短期的な取り組み	40
6.	参考文献	42
別添1	クアン・ビン省のプロジェクトリスト	
図1	ヴァン・ニンコミューンの地図	
図2	チュオン・シュアン コミューンの地図	

1. 背景

1-1 現地調査の目的

この現地調査の目的は、前記の通り（第一部に記述）、最貧困省の一つであるクアン・ビン省の貧困層の生活状況を調査し、特に貧困層をターゲットにした貧困緩和に関するプロジェクト形成の参考資料を作成することである。現地調査を行うクアン・ビン省は、自然条件、戦争の経緯などから中部地域でも最貧困省の一つに位置づけられる。この地域での住民の生活状況に関する資料は乏しく、RRA 手法を用いることにより、住民の視点に立った生活実態、開発の阻害要因などを把握すると同時に、今後の同地域への援助を検討するために役立てる。

1-2 構成調査員

現地調査は以下の団員によって実施された。

谷口美代子（アイシーネット）－チーム・リーダーおよび農村社会

Dr. Nguyen Huu Minh（Institute of Sociology）－農村開発

Dr. Vu Thuan Huy（Institute of Sociology）－保健医療、教育

Nguyen Quang Tuan－通訳

1-3 調査日程

	日程	活動
第1日目	4月11日	ハノイよりクアン・ビン省へ
第2日目	4月12日午前 ドン・ホイ	クアン・ビン省・人民委員会との面談 1. 人民委員会議長、投資計画局長 (Director: Le Van Tuan)、渉外局 (Nguyen Vinh) のインタビュー 2. 郡レベルの経済社会情報の収集
	4月12日午後 クアン・ニン郡	クアン・ニン郡人民委員会の職員との面談 1. 人民委員会議長、渉外部長へのインタビュー 2. コミュニティーレベルの経済社会情報の収集 3. 調査地域の選定 (2 コミューン)
	夕方	チーム内会議
第3日目	4月13日午前 キエット・タン村	1. コミューン人民委員会へのインタビュー 2. 調査対象・2村の選定 3. キエット・タン村長へのインタビューと富ランキングと SSI 4. 調査対象・世帯の選定 (各分類から)
	4月13日午後	5. フォーカスグループ (女性のみ) との SSI と問題ランキング 6. 女性同盟長へのインタビュー
	4月13日夕方	チーム内会議
第4日目	4月14日終日	1. 調査対象・4世帯へのインタビュー
	4月13日夕方	チーム内会議
第5日目		1. ヴァン・ニンコミューン人民委員会との面談 2. 調査対象・村の選定 3. 村長へのインタビューと富ランキング 4. 調査対象・世帯の選定
	4月15日午後 ヴァン・ニンコミューン	1. 調査対象・2世帯へのインタビュー
	4月15日夕方	チーム内会議
第6日目	4月16日終日 ヴァン・ニンコミューン	1. 調査対象・2世帯へのインタビュー 2. フォーカスグループとの SSI
	4月16日夕方	チーム内会議
第7日目	4月15日午前	省・郡人民委員会への結果報告

1-4 調査方法

社会経済状況や開発政策・戦略、他のドナーの活動状況などについて省、郡、コミューンの各レベルの人民委員会にインタビュー調査し、経済社会・統計資料を収集した後に、各コミューンの各村で約2日間調査を行った。調査チームは4人で構成され、谷口は主に農村社会、Dr. Minhは農村開発の観点から、Dr. Huyは保健医療、教育の観点からそれぞれ分析を行った。また、最終日には省と郡の人民委員会の担当者を交えて調査結果を報告した。

クアン・ビン省と、選択された2ヶ所の調査対象コミューンであるチュオン・シュアン(Truong Xuan)、ヴァン・ニン(Van Ninh)の人民委員会で面接方式でインタビュー調査を行った。村レベルの調査では簡易農村調査手法(以下 RRA 手法)を用いた住民調査を実施した。RRA手法による社会調査は、従来型の社会調査のようにあらかじめ定型の質問票を作るのではなく、インタビュー・ガイドラインと呼ばれる調査項目別リストを作成しておき、会話によって調査を進めるものである。このリストにより柔軟な調査を可能にし、少ない調査員でも目的にあった的確な情報を得ることが出来る。

村レベルの調査では、異なったコミューンの2カ村(キエット・タン、ナム・ハイ)において、一つのコミューンの中で1つの村を対象とし、村長、1フォーカスグループ(女性のみを対象とし5-6人から成るフォーカスグループ)、4世帯に対してこの手法による調査を行った。まず、各村の村長と「富ランキング」(Wealth Ranking)を行い、各世帯の貧困レベルを分類しながら、村での社会経済状況についてのインタビュー調査を行った。ここでは特に、分類された社会階層グループの特徴(チュオン・シュアンコミューンでは3グループ、ヴァン・ニンでは4グループ)、および過去との比較について、詳細なインタビューを行うと同時に、調査対象の世帯を抽出した。

フォーカスグループと各世帯での個別調査では、半構造的インタビュー(Semi-Structured Interview: 以下 SSI と呼ぶ)¹を中心に、基本的な家族構成、貧困に対する概念、貧困を引き起

¹ 事前に質問形式を決めず、調査したいトピックとサブトピックのみをリスト化してインタビュー時のガイドラインとして使用する。実際のインタビューでは、質問毎に回答を求めるのではなく、回答者にトピックについて語ってもらうよう会話をリードするものである。

こす原因、村および家族の社会経済状況と過去との比較についての詳細インタビューを実施した。

2. 調査対象地域

2-1 地域の選定

この調査の目的から、郡の選定条件は比較的貧しい地域である。クアン・ビン省の中で、山岳部に位置し、多数の少数民族が居住するツエン・ホア(Tuyen Hoa)とミン・ホア(Minh Hoa)郡の多くのコミューンがヴィエトナムの最貧困 1700 コミューンに指定され、政府の貧困緩和に関する政策に中でも最も重視されている地域である。しかし、この調査は日程にかなりの制約があり、この2コミューンが非常に遠いことから、この2つ郡の次に貧しいとされるクアン・ニン郡が選定された。

同郡は漁村、山岳、平野地域と特色の異なる 14 のコミューンから構成されており、特にチュオン・ソン(Thuong Son)とチュオン・シュアン(Thuong Xuan)コミューンは最貧困 1700 コミューンとして指定されており、クアン・ビン省の中でも最も貧しいコミューンと考えられている。チュオン・シュアンコミューンでの調査はアクセスが困難なため、山岳地域で少数民族の居住し、チュオン・シュアンの次に貧しいとされるチュオン・シュアンコミューンと同郡の平均的な特徴を把握するために平野部にあるヴァン・ニンコミューンを選んだ。両コミューンの中でも比較的アクセスがよく、貧しい村である、チュオン・シュアンのキエット・タン(Quyet Thang)村、ヴァン・ニンコミューンのナム・ハイ村(Nam Hai)を選定した。この2つのコミューンを貧困状況を比較することで、同省内の人々が抱える問題の同質性、また地域の特異性を調査した。

2-2 クアン・ビン省の概要

2-2-1 クアン・ビン省の社会経済状況

クアン・ビン省はヴェトナムの北・中央部、沿岸部に位置し、中心地はドンホイである。同省は、6つの郡(ボ・トラク(Bo Trach)、クアン・トラク(Quang Trach)、クワン・ニン(Quang Ninh)、レ・チュイ(Le Thuy)、ツエン・ホア(Tuyen Hoa)、ミン・ホア(Minh Hoa) から構成されている。省内には147のコミューンがあり、そのうち56のコミューンが山岳部に位置している。歴史的に同省は、1558年以来ヴェトナム国の分断された2つの地域の境界線となった地域であり、フランス・アメリカとの戦時中に完全に破壊され、多大な被害を受けた。全面積は8037 km²、南北にまたがる沿岸部の距離は116kmあり、西部はラオス(201km)、北部はハティン省、南部はクアン・チ省と接している。西部から東部にかけて5つの川が流れており、これは山岳部と平地を結ぶ重要な交通手段となっている。南北に沿って、国道1、15、10、15号線があり、特に12A号線はヴェトナムからラオスにぬける最短の道路である。

人口

1998年の人口は80万3380人(女性51%)、労働人口は40万3000人であり、これは全人口の49.6%を占める。労働力の72.5%は農林水産業に従事しており、全体で年間1万5000人の労働力が加わっている。その一方で、失業者は2万4000人(16%)であり、この高い失業率は同省の深刻な問題となっている。月平均収入は14万2000ドン(約10ドル²)であり、その収入源のほとんどが農林水産業、社会サービス、小規模産業からである。

民族

1994年の調査では、キン族が98.36%、その他バン・キウをはじめとする約15の少数民族³(約1万2836人)が1.67%を占める。これらの少数民族は独自の生活習慣、文化、伝統、言語を維持しており、そのほとんどがツエン・ホア、ミン・ホアコミューンなどのように交

² 1万4000ドン=約1米ドル

³ Bru-Van Kieu, Khua, Sach, Ma Coong, May, Ma Lieng, Ruc, A Rem, Tri, Tho, Thai, Ca Rai, Muong, Pa Co, Lao

通やコミュニケーションのアクセスが限られたの遠隔地や山岳部に居住している。これらの人々の生活は自然資源に依存するもので、自給自足の生産はしているが、販売目的の生産は行っていない。生活水準はキン族に比べて極端に低く、貧困ライン以下で生活している人々の割合は 100%である。月平均収入は 3 ドルと生活水準は低く、非識字率は全体で 47.3%、民族別で見ると、ムオン(Muong)族、ラオ(Lao)族は 100%、マ・リエン(Ma Lieng)族 64.7%、タイ族は 62.5%となっている。

土地

地形的に見て、山、丘、平地、沿岸地域と多様性をもっており、複雑で急勾配の土地が多く、不毛の土地や丘は 16 万 ha で、土地全体の 20%を占める。耕地の多くが雨や洪水により侵食されてしまっている。農地は 5 万 9219ha であり、これは土地全体の 7.41%を占める。稲作用の土地は 3 万 3456ha、農業用地の 56.49%、換金作物は 24.38%を占める。1998 年の年間一人当たりのコメの生産高は 17kg であり、特に遠隔地や山岳部では 7-8kg であった。農業生産は自給用にも十分でないのに加えて、ほとんどの人々が単一作物の生産を行っており、生活を圧迫している。

気候

典型的な熱帯型モンスーン気候で、ラオスからの南西風を受け、乾季には長期間乾燥し、雨季には大雨が降り、毎年台風や洪水により被害を出している。雨量は、省全体で年間平均 2300mm で 9 月から 11 月に集中しており、年間雨量の 3分の2がこの 3 カ月間に降る。洪水は大まかに年に 3 回起こり、作物に深刻な被害を及ぼす。5 - 6 月の洪水は冬春作物の収穫に影響し、夏秋用作物の種まきや田植えの時期を延ばし、8 月に発生する洪水は夏秋用作物に被害を及ぼすなど、農業に依存しているほとんどの住民は、気候によって生活水準を左右されやすい。

2-2-2 クアン・ビン省の開発方針

省の開発方針としては、社会主義の方針の中でコントロールされる市場経済メカニズムを基本として、持続可能な経済発展をすることである。同時に、飢えを根絶し、貧困を緩和するための社会開発にも配慮しながら、産業化・近代化へと経済構造を変革し、人々の生活状

況を向上させることを目的としている。詳細は以下の通りである。

1. 省の資源を最大限利用し、各セクターや地域が地域の資源を有効に利用し、国際・国内・省内の社会・経済を発展させる。
2. 民間セクターを含めた経済開発を促進する。
3. 経済を安定させるために農業・農村の産業・近代化を促進し、農業・農村開発に焦点を当てる。
4. 市場における生産と競争力を増やし、外国企業が投資するために魅力的な環境を整備しながら、国営企業の改革と再構築を促進し、産業生産、工芸品生産を高める。
5. 経済発展の需要に見合った社会経済のインフラ開発における投資を拡大し、特に貧困緩和と飢えの撲滅を目指す。
6. 人々の生活水準の向上や生産活動を保障するために、環境問題を解決するための投資を行う。
7. 行政改革を行い、国営企業・団体に関する運営・管理の効率を高め、公共サービスセクターの行政組織を改善し、行政能力を高める。社会経済活動の規範を保障しながら国家の治安維持につとめる。

2-2-3 クアン・ビン省の援助優先プロジェクト⁴

省の開発需要は大きいにもかかわらず、予算は極めて限られている。飢えの撲滅や貧困緩和を重視しながら、経済・社会発展を実現するために海外からの援助を必要とする。優先プロジェクトは以下の通りである。

(1) 貧しいコミュニティ⁵（山岳地の最貧困・沿岸の貧困コミュニティ）のインフラ整備

- ・ 小規模灌漑開発プロジェクト
- ・ 農村交通開発プロジェクト

⁴ 具体的なプロジェクトリストは別添1を参照

⁵ ツアン・ホア省 (Thuan Hoa, Cao Quang, Ngu Hoa, Kim Hoa, Huong Hoa, Lam Hoa, Thach Hoa) ミン・ホア省 (Yen Hoa, Hong Hoa, Xuan Hoa, Tan Hoa, Thuong Hoa, Hoa Son, Hoa Phuc, Hoa Tien, Hoa Hop, Dan Hoa, Hoa Thanh), レ・チュイ 省 (Kim Thuy, Ngan Thuy), クアン・ニン省 (Truong Son, Truong Xuan), ボ・トラク省 (Thuong Trach, Tan Trach), クアン・トラク省 (Quang Hop)

- ・ 安全な水供給プロジェクト
- ・ 学校建設プロジェクト
- ・ 医療センター建設プロジェクト
- ・ 農村マーケット整備プロジェクト

(2) 自然環境保全

- ・ クア・ニン郡、レ・チュイコミューン土壌保全プロジェクト
- ・ 沿岸地域の土壌侵食防止プロジェクト
- ・ 侵食した山地への植林プロジェクト

(3) 山岳地の教育プロジェクト

(4) 社会開発関連プロジェクト

- ・ 飢餓撲滅・貧困緩和支援プロジェクト
- ・ プライマリーヘルスケア強化プロジェクト
- ・ 雇用促進プロジェクト
- ・ 小規模融資プロジェクト

(5) 漁業開発プロジェクト

- ・ ハイ・チュイ (Hai Thuy) 漁村開発プロジェクト
- ・ ハイ・ニン (Hai Ninh) 漁村開発プロジェクト
- ・ バオ・ニン (Bao Ninh) 漁村開発プロジェクト
- ・ クアン・バン (Quang Van) 漁村開発プロジェクト

(6) 観光開発プロジェクト(ダ・ハイ (Da Nhay), ボア・ニン(Bao Ninh))

2-3 郡別・社会経済指標 (1998年)

【一般社会経済指標】

指標	ドンホイ	ミンホア	ツアン ホア	クアン トラク	ポトラク	クアン ニン	レチュイ
人口 (人)	96.722	40.625	78.800	193.353	163.940	87.550	146.332
女性人口 (%)	51.2	49.9	50.8	51.9	50.3	51.2	49.7
労働人口 (人)	53.318	19.433	37.450	95.209	79.320	42.507	70.241
失業者 (%)	NA	8.5	3.3	5.8	8.9	4.1	7.1
農業生産 (百万ドン)	25.650	9.500	53.500	125.800	88.695	57.400	116.941
産業生産 (百万ドン)	50.200	5960	6.700	62.000	21.400	7.000	16.430
米生産 (百万ドン)			7.077	29.092	25.866	22.352	44.752
電気の普及している コミュニティ数	14	4	8	27	24	14	44.752
電気普及率 (コミュニティ)	100	28	50	79.4	80	100	23
電気普及率 (世帯)数	21.700	800	5301	24779	17.188	13.207	18145

【保健関連指標】

指標	ドンホイ	ミンホア	ツアン ホア	クアン トラク	ポトラク	クアン ニン	レチュイ
医療施設数	2	4	3	3	4	2	4
診療所数	12	14	16	34	30	15	25
医療スタッフの割合 /1000人	1.37	3.2	1.84	1.47	1.58	1.62	1.75
医療スタッフ数 (人)	133	130	145	284	260	142	257
医師数 (人)	6	8	14	21	16	10	16
ベット数	40	65	75	140	115	75	115
安全な水の使用率(%)	85.38	37	37.05	90.8	76.3	89.6	63.8
乳児死亡率 (1才以下)(%)	7.01	13.57	1.98	9.15	5.82	0.75	4.59
幼児死亡率 (5才以下)(%)	10.83	2.38	37.58	11.24	13.87	2.26	10.51
妊産婦死亡率(%)		0.26	0.4	0.55			0.27
栄養失調(5才以下)	41.48	23.66	29.69	39.77	43.77	42.25	43.9

【教育関連指標】

指標	ドンホイ	ミンホア	ツアン ホア	クアン トラク	ポトラク	クアン ニン	レチュイ
識字率	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA
小学校数 (校)	23	27	25	39	48	22	25
中学校数	13	12	16	34	27	15	16
高校数	3	2	1	3	1	2	1
小學校生徒数	11.176	7.761	12.888	29.762	25.072	13.000	20.220
中学校生徒数 (人)	8.268	3.802	5.420	11.193	11.492	7.720	10.674
高校生徒数 (人)	2.824	714	1.504	2.593	2.242	1.990	1.910
教師数 (人)	936	574	776	1.427	1.364	786	1.031
小学校があるコ ミュンの割合 (%)	100	100	100	100	100	100	100

(出典：クアン・ビン省人民委員会)

2-4 クアン・ニン郡の概要

クアン・ニン郡はクアン・ビン省の西部に位置している。面積は 11 万 9000ha、そのうち 70%が森林・山岳部で、1997 年の農業用面積はわずか 6432ha(5.4%)、灌漑面積は 376ha(5.8%)であった。1998 年 4 月の総人口は 8 万 7550 人、世帯数は 1 万 8891 人で、1997 年の労働人口は全体の 48%に当たる 4 万 2051 人(うち女性 51.2%)、出生率は 2.2、粗死亡率は 0.4%、人口増加率は 1.8%であった。

同郡は 14 のコミューン⁶からなり、そのうち 11 コミューンは平野部、2 コミューンは山岳部(チュエン・ソンとチュオン・シュアン)、1 コミューンは沿岸部(ハ・ニン、Hai Ninh)に位置する。山岳部にあるコミューンは主に多数民族であるキン族と少数民族のヴァン・キウ族の居住地域に分けられる。これらのコミューンへの道路は未整備で、特にチュエン・ソンコミューンに車で行くことは不可能で、川を船で渡る以外に方法がなく、郡の中心部から約一日かかる。

平地では、コメが主な農作物である。レ・チュイ郡にあるカムリー(Camly)湖は同郡へ農業用水を供給している。チュオン・シュアンコミューンには開発援助によって建設されたラオ・チュ湖があり、50ha の農地に水を供給している。1996 年、冬・春の収穫におけるコメの生産高は 3 万 2000 ドン(1ha 当たり 4,560kg)であり、省一の生産高であった。しかし、1998 年は干ばつと洪水により農業生産が深刻な被害を受け、コメの生産高はわずか 2 万 2250 トンにとどまった。これはヴェトナム戦争終了後、最も厳しい結果であった。山岳部では、主に移動農業が中心で、ラッカセイが主な生産物である。沿岸部での農業従事者の割合は少なく、非稲作生産に従事している。主な収入源は漁業からであり、漁獲に小型船を使用している。現在、郡人民委員会は住民の生活水準を向上、貧困を緩和するために農林水産業に焦点を当てており、コメの種 1 kg に対して 1000 ドンの補助金を出している。

2-4-1 チュオン・シュアンコミューンの概要

チュオン・シュアンコミューンはクアン・ニン郡の中でも山岳部にある 2 コミューンの一つ

⁶ Luong ninh, Vinh ninh, Vo ninh, Ham nnh, Duy ninh, Hien ninh, Hai ninh, Gian ninh, Tan ninh, Xuan ninh, Tuong xuan, Truong son, An ninh, Van ninh

で、中心はコミューン人民委員会のあるキエット・タン村である。この 2 コミューンの土地 (Natural Land Area) は郡全体の 80% を占める。チュオン・シュアンコミューンは 154 km² であり、少数民族であるヴァン・キウ族の居住地域を含む。同コミューンは政府の「新経済ゾーン」に指定され、1980 年以來、同郡内のチュアン・ニン(Xuan Ninh)コミューンからの漁業従事者の多くが移住し⁷、新しいコミュニティーを形成した。それ以前は、元來遊牧民であるヴァン・キウ族が山岳部に居住していただけであった⁸。現在チュオン・シュアンコミューンには 5 村と 4 ハンレット(hamlet)⁹があり、地形も民族分布も多様である。道路は狭く、整備されていない地域が多く、山岳地域への移動は容易ではない。

1998 年の人口は 1993 人でそのうち 974 人が女性、15 才以上は 1251 人であった。世帯数は 452 戸、そのうち 56 戸はヴァン・キウ族の世帯であり、図 1 に見られるようにコミュニティーの中心から離れている。また、1998 年の出生率は 2.24 人であり、1997 年と比較すると 0.03% 増加した。1997 年までに第三子までいる世帯は 12 戸、全体の 27% であった。粗死亡率は 0.04% であり、自然人口増は 2.2% であった。

耕地は 224ha、そのうち 60ha は春冬作物用である。1997 年の稲の収量は 1ha 当たり 3 トンで、その他、ラッカセイ、サツマイモ、トウモロコシなどを作っているが、特にサトウキビの栽培が盛んである(41ha)。以前このあたりは移動農業(shifting cultivation)が主であったが、開発援助により ICCO によってラオ・チュ(Rao Tru)村にロン・デン湖(Long Den)が建設されたことにより、過去 5 年以内に灌漑システムが発達した。この湖は 50ha にわたる。この地域の農業生産高は増加し、生活水準も向上したが、昨年夏には完全に水がれの状態であった。

唯一の医療センターはキューエット・タン村にあり、医療スタッフは 4 人、そのうち医師は 2 人、薬剤師 1 人、看護婦 1 人である。病院には 6 つのベットがある。コミューンの人々は診断を受ける他、国家プログラムであるワクチン接種(三種混交の接種率は 100%)、マラリア予防

⁷ 移住する以前、ほとんどの住民は土地を持っておらず、船で暮らしていた。魚を売り、コメを買う生活であったが、政府の最定住政策により以上の漁獲がないと、政府から米の種を売ってもらえず、事実上強制的に移住させられた。

⁸ 以前ヴァン・キウ民族は焼畑農業を営んでいたが、政府による定住化政策の中で、定住を強いられ、一部は土地を提供され、稲作を営んでいる。

⁹ ハンレットとは行政単位で、平野部のコミューンには、村があり、村の中にハンレットがある。山岳部には

や肺炎の治療を受ける。特に、貧困ライン以下の多くの山岳地域の住民は、安全な水へのアクセスが欠如している。年間を通して、9-11月までマラリアの数は急増し、1997年には333人(住民の16.7%)、1998年には175人(住民の8.8%)がマラリアに感染した。子供の栄養失調率は高い。この割合は民族により違いがあり、正確な数字は把握できていないもの、キン族が15-20%に対して、ヴァン・キウ族の場合70%と推定されている。

すべての村には医療ケア担当係が置かれており、郡から給与を得ている。診断費は無料であるが、医薬品代は必要である。貧困層に対しては無料診断カードを配布し、健康診断を促している。この診療所は月例報告を郡の保健局に提出している。ヴァン・キウ族には、伝統医療法に基づき医療活動を行っている医師が一人いる。

小学校・中学校のクラス数は12である。教師は全員で25人(うち女性は12人)、そのうち8人は中学校の教師である。小学校の生徒は284人であり、18クラス、そのうち66人、5つは合同クラス¹⁰であり、生徒のほとんどがヴァン・キウ族である。中学校の生徒は123人、4クラスある。1998年に、6-14才の生徒の就学率は87%で、うち2人(1年生と3年生)が家族の経済的理由から退学した(0.05%)。

2-4-2 ヴァン・ニン(Van Ninh)コミューンの概要

ヴァン・ニンコミューンは平地と山地から成っており、面積2905haである。そのうち、森林450ha、不毛の土地1199ha、植林地394haである。耕地は862haで、うち2種類の作物を栽培している耕地は235ha、単一作物を作っているのは261haである。干ばつ、土地の塩化、酸化のために、昨年の冬春稲作の222haを失い、夏秋作物の全てを失った。

1998年のコミューン人口は7356人(うち、女性51.6%人)、世帯数は1684戸であった。国营のセメント工場があり、1648人(143世帯)は同郡内の他の地域から一時的に移住している。お年寄り一人で暮らしている世帯は97戸で、全体の5.8%である。粗出生率は1.5%、5

ハンレットのみある。

¹⁰ ヴァン・キウ族の居住区には、小学校の分校があり、5学年のレベルの異なる生徒が一つの教室で一人の教師の下で授業を受けている。教師は3面の壁を使って授業を行っている。一部の教師は午前中にコミューンの中心にある学校で授業を行い、午後には約5km離れた分校で教える。

才以下の乳幼児死亡率は0.7%、栄養失調率は32.4%であった。

ほとんどすべての人々が農業生産に従事している。数年前、一年一人当たりの平均コメ生産量は233kgであった。農家にとって畜産は収入源だけでなく、肥料の供給源として考えられる。コミューン全体で家畜の数は、水牛462、乳牛は856、豚2725、鶏2万、家鴨2000であった。

医療に関して、コミューンには診療所が一ヶ所あり、ベット数は5台、3人の医療スタッフがいる。そのうち、医師は1人、看護婦は2人である。教育に関して、1998年に小学校は2校、生徒数は2138人、中学校は1校、生徒数は786人である。高校の生徒数は300人であり、そのうち5人が大学へ進学した。現在、教師の数は、小学校で28人、中学校で13人、高校で26人であり、教師の約30%が同コミューンの出身者である。小学校・中学校の教室数は30であるが、そのうち16が戦後直後の1980年に建設されたために老朽化している。これに対して毎年150m²の教室が親の献金によって修復された。

3. 貧困の定義

3-1 ヴィエトナム国における貧困評価方法

ヴィエトナムにおける貧困の定義は多様である。例えば UNDP は「国民生活、特に経済分野の生活における参加の欠如」(UNDP, 1998)としている。投資計画省(Ministry of Investment and Planning)は「飢え撲滅・貧困削減国家プログラム」(National Hunger Elimination and Poverty Production Program: HEPR)の中で、「貧困は、一部の国民が最低限必要な生活を送れず(絶対的貧困)、あらゆる面でコミュニティーでの平均生活水準以下で生活を営んでいる(相対的貧困)状態」としている。これらの定義を基に、食物消費量、栄養・健康状況などのような「福利(Well-being)」を考慮に入れ、貧困状況を量的に計る具体的な手段が用いられている。貧困ラインに関しては、以下にみられる通り、各機関により様々な貧困ラインの計算方法が取り入られている。

最初の包括的な貧困調査としては 1992-93 年に生活水準調査(The Viet Nam Living Standards Survey of 1992-93: VLSS)が実施され、一日当たりの食物消費カロリー(2100 キロカロリー)と非食料支出を含む消費支出(一人当たりの収入を 100 ドル)を基準に貧困ラインを設定した場合、人口の 51%が絶対的貧困であるとされた。これは、包括的な質問表に基づき無作為に選んだ 4800 世帯を対象にしたものである。この割合は、北中央沿岸部(73.6%)、北部山岳部(62.8%)、中央高地部(50.1%)において高く、南東部(45.2%)では最も低い割合を示した。この貧困状況は特に農村部、少数民族居住地域に多く見られ¹¹、同時に教育、保健へのアクセスに関しても低い数値を示した(下記の表 1 を参照)。第二回目の生活水準調査は 1998 年に実施され、現時点で詳細は公表されていないものの、絶対的貧困はわずか 5 年で人口全体の 30-35%に減少したとされる。

¹¹ 貧困層の 90%が農村部に居住しており、その 60%が農業に従事しており、南東部における割合が 45%だったのに対して、北中央沿岸部では 74%であった。中央沿岸と山岳部は国全体の貧困層の 40%を占め、これは全人口の 29%である(The World Bank, 1998)。

表1 ヴェトナムにおける民族別の社会指標(1993年)

民族グループ	粗死亡率	幼児死亡率	平均余命 (歳)
キン (Kinh)	7.7	38.5	67.7
タイ (Tay)	8.7	51.0	64.5
中国 (Chinese)	9.6	58.5	62.8
キンマー (Khmer)	7.2	30.5	70.2
ミュング (Muong)	10.4	71.5	59.9
ナング (Nung)	7.7	40.5	67.1
ホモング (H'Mong)	10.3	67.0	60.9
ダオ (Dao)	14.9	106.0	52.8
	11.8	82.0	57.6

(出典：Fighting Poverty in Viet Nam: A Literature Review
(Draft), The World Bank, 1999)

統計局(Government Survey Office: GSO)は1993年に「富と貧困調査」(Survey Wealth and Poverty)を実施した。これは、生活水準調査と比較すると質問項目が少ないが、サンプル数は多く、9万2000世帯であった。一日の平均食物のエネルギー摂取量(2100キロカロリー)と、これに相当する一人当たりの一日の平均収入(都市部7万ドン、農村部5万ドン)を貧困ラインとしたもので、その結果、20-22%が貧困であると見なされた。地域別の状況については、上記の生活水準調査と同様の結果であった。

これらに加えて、労働傷病兵社会福祉省(Ministry of Labour, War Invalids and Social Affairs)は、月当たりのコメの消費量とそれに相当するコメの消費支出額によって貧困ラインを設定した。下記の表2に見られる通り、1993年の数値は農村・都市部、貧困・飢えと4つに分類され、貧困発生率は28.0%であった。1996年の第二回目の調査では、都市、農村デルタ・中部、山岳部ごとの貧困、飢え(全地域)とすべての地域での飢えをふまえた4つに分類され、貧困発生率は19.3%と上記の調査同様、貧困状況は減少傾向にあった。

表2 ヴィエトナムにおける貧困評価方法

	地域	貧困ライン (Kg/人/月)	同等の消費 額・収入 (ドン)	貧困発生率 (%)
世銀 LSMS (1992-1993年)	都市部	一日のカロリー 消費量 2,100	1,293,000	51%
	農村部		1,040,000	
統計局 (1993年)	都市部	一日のカロリー 消費量 2,100	840,000	20-22
	農村部		600,000	
労働傷病兵社会福 祉省 (1993年)	都市部・貧困	20kgの米	360,000	28.0
	農村部・貧困	13kgの米	300,000	
	都市部・飢え	13kgの米	294,000	
	農村部・飢え	8kgの米	245,000	
労働傷病兵社会福 祉省 (1996年)	都市部	25kgの米	1,050,000	19.3
	農村デルタ・中部	20kgの米	840,000	
	山岳部	15kgの米	630,000	
	飢え(全地域)	13kgの米	546,000	

(出典：Fighting Poverty in Viet Nam: A Literature Review (Draft),
The World Bank, 1999, & Strengthening Capacity for the Renewal
of Rural Development in Viet Nam, UNDP, 1998)

しかし、ヴィエトナムでは最貧困層をターゲットにするために、低い数値を好む傾向があり、統計局と労働傷病兵社会福祉省による数値を採用するのが一般的である。また、同省はコミュニティレベルでの貧困に関する情報を収集するシステムを開発している。各コミュニティは各世帯の収入に関する情報を収集する役割を担っており、この収入額は地域で使用される同等のコメの価格に換算され、各世帯は都市・農村部、省ごとに「飢え」、「貧困」、「非貧困」と分類される。貧困のコミュニティの定義は、1) 貧困世帯が40%以上、2) インフラストラクチャーの未整備(電気、道路、学校、保健センター、市場、安全な水)、3) 40%の人が非識字者である。この調査結果は毎年収集され、少数民族・山岳地域委員会(Committee for Ethnic Minorities and Mountainous Areas: CEMMA)は1475、労働傷病兵社会福祉省は1700コミュニティを最貧困省と指定し、そのうち1000コミュニティが飢え撲滅・貧困削減国家プログラムの対象とされた。

3-2 クアン・ビン省における貧困状況

近代化・産業化に基づいた市場経済へ移行する過程の中で、クアン・ビン省においても、貧困問題への取り組みは重要な課題である。省の開発5ヵ年計画にも記述がある様に、貧困緩和は省の経済社会開発において最も重要な政治課題である。ドイモイ導入後の過去10年間、インフラ投資、雇用促進、貧困緩和などの開発プログラムにより、省内でも多数の人々の生活水準が向上し、富裕層が生まれたが、一方で、未だに貧困・飢えに直面している多数の国民がいる。

同省で採用されている労働傷病兵社会福祉省の貧困評価によると、1997年の貧困・飢えと分類される世帯は5万2453戸であり、これは全体の31.2%を占めた。飢え世帯は11.31%、貧困世帯は19.98%であった。昨年の長期にわたる干ばつと洪水は現在に至るまで人々の生活に深刻な影響を与えている。ほとんどの農家は昨年の夏秋の農作物を全て失い、これにより貧困・飢え世帯の割合は全体の39.3%に増加した(国全体では20%)。さらに、貧困世帯はこの12.7%、飢え世帯は26.6%と絶対的貧困層の数を押し上げている。これらの世帯のほとんどが農村・山岳部に位置し、農村部のコミューンの50.34%が貧困ライン以下であるのに対して、都市部での割合は15.38%であった。特に、ミン・ホアとチュエン・ホア郡の100%のコミューンが貧困・飢えとされている。

上記を背景に、1994年のクアン・ニン郡での貧困・飢え世帯は全体の24%であったが、1998年には36%に増加した。これらの世帯のほとんどが女性世帯主かお年寄りのみの世帯である。コミューンレベルにおいても深刻な被害が報告されている。特に、コメ生産に依存しているヴァン・ニンコミューンでは、貧困・飢え層が1295世帯(全体の77%)と激増し、そのうち568世帯(全体の34%)が「飢え」と分類される。以下の表3は1998年における世帯数と貧困ライン以下の世帯の割合を示したものである。図1に見られる通り、干ばつのため水が十分でない地域での生活状況はかなり厳しい。

表3 1998年における村別世帯数と貧困ライン以下の世帯割合

村	世帯数 (人数)	貧困ライン以下の世帯の割合
フ・ソン(Phu son)	319 (1359)	48%
チュアン・ソン(Xuan son)	197 (829)	75%
ダイ・プルエ(Dai Plue)	221 (939)	69%
タイ(Tay)	193 (892)	95%
ソリ(Sori)	103 (457)	92%
ギバ(Giva)	168 (707)	64%
ベン(Ben)	172 (758)	100%
ナム・ハイ(Nam Hai)	119 (550)	92%
ドオ(Doh)	192 (847)	92%

3-3 貧困に対する住民の認識

3-3-1 経済社会階層の分類

貧困問題に取り組むためには、まず第一に、貧困層自身が貧困に関してどのような概念を持っているかを知ることが大切である。以下は、1-4にある調査方法を基に、2つの村および世帯レベルでの貧困に関する住民の認識をまとめ、分析したものである。調査対象であるキエット・タン、ナム・ハイ両村の村長に富ランキングをしてもらう前に経済社会階層数と種類を提示してもらった。キエット・タン村長はこれを「中間 (Middle)」、「貧困 (Poverty)」、「飢え (Hungry)」と3階層に分類した一方で、ナム・ハイ村長は「富裕 (Rich)」、「中間 (Middle)」、「貧困 (Poverty)」、「飢え (Hungry)」と4階層に分類した。この階層を基に村の全世帯を分類した結果は以下の通りである。

表4 チュオン・シュアン村長による経済社会階層の分類

	中間	貧困	飢え
世帯数 (戸)	34	21	18
割合 (%)	46.6%	28.8%	27.4%
女性世帯主世帯数 (戸)	4	1	4
女性世帯主の割合 (%)	11.8%	4.8%	22.2%

表5 ヴァン・ニン村長による経済社会階層の分類

	富裕	中間	貧困	飢え
世帯数 (戸)	4	66	24	25
割合 (%)	3.4%	55.5%	24.2%	26.5%
女性世帯主世帯数 (戸)	0	10	8	9
女性世帯主の割合 (%)	0%	15.1%	28.6%	36%

チュオン・シュアン村で3分類した際の基準は、

- 1) 住居の建設物質 (タイル、セメント、木材・泥)
- 2) 家具 (椅子、机、ベット、マットレス)
- 3) 収入金額、収入源 (副業の有無)
- 4) 服装
- 5) 農・漁業生産用具の種類 (農業機具、エンジン付きの漁船、漁船の有無)
- 6) 家畜の種類 (水牛、乳牛、鶏)
- 7) 投資への知識・状況 (農薬、肥料、農具)
- 8) 単一作物栽培か多品種栽培か
- 9) テレビの有無
- 10) 電気の使用
- 11) 子供の数と教育状況

などであった。ナム・ハイ村の場合も上記のような基準で分類され、これらに加えて富裕世帯の特徴として、政府の労働輸出プログラムにより海外に出稼ぎに行っていたもの、子供がドイツに居住し、仕送りを得ているものなどが挙げられた。

3-3-2 貧困層の特徴

上記の分類を基に、1) 村長、2) 富裕層を除く中間、貧困・飢えの各層から抽出された女性世帯主または世帯の女性の家族員により構成されたフォーカスグループ、3) 富裕層を除く各層から抽出された女性世帯主を含む個別世帯一へのインタビュー調査を基に得た貧困層の特徴は以下の通りである。

(1) 泥とわらの住居

貧困・飢え層に多く見られるのは、住居の建築物質が泥であり、屋根はふきわらで作られており、床はなく、家具がなく、竹ベットののみである。また、ほとんどの家庭に電気がない。

(2) 小規模な耕地

農業生産は主な収入源で、干ばつや洪水、やせた土地、灌漑施設の未整備、酸性土壌、単一作物であること。一世帯の平均耕地面積が小さい。人口増加の影響により、土地の供給に限界があるために自給に必要な土地が持てない。

(3) 限られた収入源

住民のほとんどが、農業・漁業・養鶏業からの収入に依存しており、その中でも農業に依存する傾向がある。農業の中でも稲作が中心で多品種作物栽培を行っている世帯は少ない。キエット・タン村では、農業と若干の漁業（川の小魚を近くの市場で売る程度）に依存している一方で、ナム・ハイ村の場合、ほとんどの世帯が農業のみである。昨年の干ばつは、ナム・ハイコミュニティに大きな影響を与えた。収入源の全くなくなった農民は南部への出稼ぎまたは移住を強いられている。

(4) 女性世帯主・戦傷病者

貧困・飢えの世帯の割合と家族の規模、年齢、性別に関連性が見られる。特に、表3、4に見られるように、貧困・飢えの層に女性世帯主が多い傾向がある。これらの女性は、離婚、未婚、戦争による夫の死などにより世帯主となっている。また、お年寄り一人の世帯、戦争による負傷者を抱えた世帯、子供の数の多い世帯、病人がいる世帯などがこの層に多い。

4. 貧困の原因

貧困の原因は複雑である。多くの途上国の場合、原因が結果を生み、結果が原因を生むという悪循環を引き起こす構造となっている。ベトナムにおいても例外ではない。ここでは、インタビュー調査の結果に基づき、その傾向にしたがって、1) 生産性の低い農業、2) 不安定で低い所得と不十分な財源、3) 不適切な保健衛生状況、4) 不十分な教育へのアクセス、5) 戦争の影響—の5つの視点から貧困の原因を分析し、貧困問題を解決するための今後の課題と具体的な提言を行う参考とする。

4-1 生産性の低い農業

4-1-1 生産性の低い土地

(1) 土壌の塩類集積

一般的に、同省内では保水力や肥沃度が低く、土壌の塩類集積や酸性化による厳しい影響を受けている。両村における貧困の根幹の原因の一つは、直接・間接的に土壌の塩分濃度が増加することである。これは、塩水の侵入と排水が悪いために起こることであり、このため農作物は低生産性に止まっている。この塩類集積は年々増加しており、この状況を抑制するための十分な灌漑施設と排水施設がない。特に過去2年で、ヴァン・ニンコミュニティのほとんどの農家で、コメの生産量が激減し、去年は極度な干ばつが塩類集積を加速し、ほとんどの農作物が収穫できなかった。この結果、多くの人々が収入・食料を得ることが出来ず、ホーチミン市をはじめとする南部への出稼ぎ、移住を強いられている。

(2) 灌漑設備の不備

灌漑施設が未整備なために、キエット・タン、ナム・ハイ両村で、厳しい干ばつを克服するだけの十分な農業用水が不足し、特に過去2年間で被害を加速させてしまった。ナム・ハイ村では、軟水が入ってくる水路よりも農地が高いため、土壌の塩分を洗い流すことが出来ない。加えて、1994年に建設されたコミュニティ北部にあるマイルTrung防波堤(Mi Trung)は、海からの塩水の侵入を防ぐの役立つ一方、高さが十分でないため、強風や洪水などにより塩水が流入してしまう。この塩水を取り除く水路を持っていないため、塩水が土地内部に

溜まってしまい、皮肉なことに防波堤を建設したことにより、土壌の質はさらに悪化している。

両村とも十分な貯水池がなく、小規模な水路のみに依存しており、水供給は自然条件に深く依存している。したがって、灌漑施設、貯水池などの建設への要望は切実である。チュオン・シュオンコミュン内のラオ・チュ村に、オランダの NGO である ICCO の援助により 1995 年に貯水池が建設され、農業生産高が向上して、コミュン全体へ経済的な貢献をしている。

(3) 土地不足

1993 年土地法は 1988 年土地法に設定された土地の使用権を強化するものであり、20 年まで土地の使用を保証し、売買やリース、相続などを認める条項を含んでいる。所有権は国に属している。この土地改革による土地の配分は比較的平等であった。農家のほとんどは土地を耕すのに伝統的な技術や家族の労働力を使って小規模な自給農業を行っているが、家族が増えても、農地を拡大する可能性は限られている。チュオン・シュオンコミュンは 80 年代に入植された開拓地であり、土地の質も悪く、農業用の土地自体が少なく、山地を自由に開墾することは禁じられている。特に 1993 年以後、新たな土地は底をついており、若い夫婦は新たな土地を持ちにくい。土地については他に 1) 食料不足や予期せぬ事件（災害、病気、事故）のために土地使用権を売却してしまっている、2) 税金や借金の支払いのため地方政府や民間の金貸し業者に土地使用権を取られてしまっている—ことなどが起きている。

4-1-2 単一作物栽培への依存

貧困層はラッカセイやサツマイモを栽培する傾向があり、富裕層はコメとその他の作物を栽培する傾向にある。富裕層は特に乾季に比較的広い面積でコメの生産を行い、他の高収量品種の作物を栽培し、多角化を進めている。一方で、貧困層の農民は自給農作物の生産を重視しており、これは農業の多角化のための選択を狭め、生産性が低いため、収入は低水準にとどまっている。貧困層の農業の多角化を困難にしている原因は、1) 農家は土地利用に関する規制から、稲作から高品質で利益が高い作物生産に切り替えることが出来ない、2) 多

角化に関する情報・技術を持ってない（政府および非政府機関の農業普及活動が十分でない）、3）資金不足および有利な融資へのアクセスが不十分、4）借金をすることの精神的な負担と返済の可能性への不安—などである。

農業だけでなく、養鶏業や漁業に収入源を広げることにより、リスクを分散している世帯は少ない。逆に言えば、収入源が複数ある世帯や農業の多角化に成功した農家は、収入の増加に結びついており、多くの障害やリスクを避けることができている。この例は、昨年の干ばつの被害の例で顕著に見られる。干ばつによる被害はベトナム全土にわたっているが、特に、中部・乾燥地帯の同省での被害は深刻である。特に、過去2年の干ばつ以前ヴァン・ニンコミュニティは、コメの収穫がある程度あれば、社会経済的にチュオン・シュアンコミュニティより住民の生活状態が良かった。しかし、ヴァン・ニンはコメ生産への依存度が高いため、川に恵まれ、漁業からも収入があるチュオン・シュアンコミュニティよりもその影響は大きいものとなった。ヴァン・ニンコミュニティの場合、これらの貧困・飢え層は出稼ぎを余儀なくされている一方で、チュオン・シュアンコミュニティでは、出稼ぎをするものがほとんどいなかった。

4-1-3 農業普及支援活動の不足

両村での農業普及活動は活発でなく、多くの農民は効果的な農業経営の方法についての知識がない。農業協同組合(Agricultural Cooperative)の財源は限られているために、貧困層は農業普及サービスを受けることが出来ない。農民自身も資金不足であり、主に稲作やトウモロコシ、サツマイモなど特定の換金作物の栽培に限られている。郡人民委員会は、全農家に安い価格の種を提供しており、普通、1kgあたり4600ドンで販売されている種を1kgあたり3600ドンで販売するよう販売業者（国営）に補助金を提供している。「飢え」の層に対しては、10kgの種が無料で提供される¹²。また、女性同盟(Women's Union)、農民組合(Farmer's Association)、傷病兵組合(Veteran Union)などは農業生産の経験、生産計画、農業活動の支援についての会議を開くが、技術や情報へのアクセスを向上させるようなものではない。農業の多角化を促進するためには、農民の投資の失敗へのリスクを減らすことが必

¹² しかしこの種は、生産性が高いが、従来のもより水を多く必要とし、災害に非常に弱く、水を多く必要とし、農民は必ずしもこの種を好んではない。

要であり、農業普及機関が支援活動を保証し、農民のニーズに合った適切な技術の伝達、アドバイスを与えること必要である。

4-1-4 家庭内労働力不足

前に述べたように、特に女性世帯主は最貧困層に多く見受けられる。ナム・ハイ村のある女性世帯主は37才で、夫を10年前に亡くしており、農業労働力が不足していた。これらの女性に多く見られるのは、夫が病気や戦争で死亡してしまっており、それ以降、ほとんどの場合生活水準が下がり、収入が不安定となっている。また、これらの家族は平均して3-5人の幼い子供がおり、生活が苦しいために子供を学校に通わせることが出来ず、その結果教育水準も低い。衛生状況が悪いため、健康状態も悪い。お年寄りや幼い子供が多くいる世帯は、医療費や教育費がかかり、家計を圧迫する直接的な原因になるなど、扶養家族が多いほど生活水準は低い傾向にある。加えて、幼い子供がいる親は子育てのために十分に働く時間がない。

4-2 不安定で低い所得と不十分な財源

4-2-1 限られた所得向上活動

(1) 家内家畜飼育

農業の他に、両村の農民のほとんどはニワトリを2、3羽飼っているが、ブタや牛などは中間それ以上の住民に限られる。住民にとって牛を飼うことは魅力的な収入源であり、重要な商業売買の材料である。家畜の飼育に従事したいという意欲はほとんどの農民に見られる一方で、問題は、1) 資本・食料不足（主にコメ）による飼料の不足、2) 伝染病の発生への懸念、3) 動物が死んでしまったときの負債への恐れ—などである。ブタ一頭の価格は平均で22-24万ドンだが、農民のほとんどは資本を持っておらず、公的機関から融資を受けられるか、隣人・家族から借金をしなければ購入できない。ナム・ハイ村のある富裕層の農民は、2年前に200羽の家鴨を3000万ドンで購入した（うち2000万ドンは農業銀行からの融資）。しかし、コメ栽培のために使用した農薬の影響ですべての家鴨が死んでしまい、2000万の負債のみが残ってしまった。しかし、このように、公的機関からこの額の融資を受けることは担保を保有している一部の農民に限られる。

(2) 漁業

キエット・タン村では、農業と漁業の両方に従事している農民が多い。ただし農業と漁業の比率は世帯によって異なる。近年、多くの住民が漁業にも従事し始め、魚の量は減少している。しかし、毎年洪水が起こるなど自然災害の多い同地区では、農業と比較して漁業は、安定した収入源として考えられている。しかし、ここでも、生活水準に応じて、漁具も異なり、投資により小型船や網を持っている世帯はより多くの収入を得ている。小型船は約3-4百万ドン(3-4万円)し、漁網は2-3百万ドン(2-3万円)かかり、貧困層はこれらを購入する資金がない。

(3) 薪拾い

両村のほとんどの住民が一年のうち約4ヶ月間のみ集中的に農業に従事しているが、農閑期の間も、住民は生活に必要な収入や食料を補うためにあらゆる生産活動を行っている。特

に、ほとんどの住民は森林で薪を拾い¹³、近くの市場で売っているが、一日平均で1万ドンの収入を得る程度である。薪の運搬方法も所得レベルによって異なり、牛をもっている家族ではより多くの薪を牛で運搬し、より多くの利益を得ることが出来るが、ほとんどの貧困層は肩にのせて運んでいる。ナム・ハイ村で牛を持っている住民の場合、夜10時に家を出、30km離れた森林まで行き、薪を拾い、その後市場で売って、帰宅するのが翌日6時であるという。一回に5万ドン稼ぐ。キエット・タン村の牛をもっていないある住民は、午前3時に家を出、7kmの距離を歩き、薪を市場で売って夕方に帰宅する。一回の稼ぎは5000ドにとどまる。近年、薪を拾う人の数が増えてきたこともあり、森林破壊が進むと同時に、人々はさらに遠い所まで行かなければならなくなっている。

(4) 賃金労働

土地なし農民や最貧困層の多くは、生産活動に投資できる比較的豊かな農民に労働力を売っている。普通、井戸や池を掘り、土地を耕し、収穫を補助する仕事で、一日当たり、約1万から1万5000ドン位の収入を得られる。ナム・ハイ村の場合、農閑期に多くの人が南部へ出稼ぎに行き、建設業や縫製業に従事しているケースが多く見られ、昨年、400人(人口の約5%)が南部へ出稼ぎに行っている。しかし、ほとんどの場合家族へ送金するだけの収入を得られていない。

4-2-2 不十分な財源

コメ生産、漁業、薪拾い、養蚕、賃金労働による収入は、年間を通して、農家のコメの消費量に見合うだけの収入ではなく、融資は貧困層にとって重要な収入源である。両村とも公式・非公式な融資機関¹⁴があるが、貧困層は有利な融資を得られない場合が多い。金融業者、商人、親類、友人などからの非公式な融資がかなりの役割を果たしており、農村での融資額の3分の2を占めている

(1) 公的な融資

¹³ 森林破壊のため、この地域での住民の森林伐採は違法とされており、住民も認識しているが、収入源確保のためやむを得ず続けている。逮捕者がでる場合もしばしばある。

¹⁴ 銀行は郡中心部のみ

近年、公的な融資への需要は高まっており、担保となる土地証明書の発行により、人々の融資への機会もさらに増加してきている。一方で、融資機関は十分に機能しておらず、特に、多くの最貧困層への融資トへのアクセスの機会が少ない。この原因は、1) 担保が不足している(土地なし農民や土地証明書が給付されていない住民)、2) 返済できないので、借金したくないという精神的な恐れにより融資を受けない—などである。

ヴェトナムでは、農村部への公的融資は、ヴェトナム農業銀行(Viet Nam Bank for Agriculture and Rural Development: VBA)、人民信用基金(People's Credit Funds: PCF)、ヴェトナム貧困銀行(Viet Nam Bank for the Poor)が行っている。女性同盟、農民組合、老人組合、傷病兵組合なども融資を行っており、最貧困層には無利子で融資する場合もある。しかしながら最大でも100万ドンと額が少なく、厳しい状況を克服できる規模ではない。投資の機会も限られている。ほとんどの最貧困層の場合のこれらの融資による支出先は、家畜、肥料、農薬、医薬品の購入から生活費の補完まで、さまざまである。チュオン・シュアンコミュニティでは、赤十字が子供の栄養失調の子供を持っている母親に融資をしたり、栄養失調防止プログラムを実施している。キエット・タン村での世帯主のインタビューによると、昨年配偶者が亡くなり、その際、農業銀行から200万ドン借り、150万ドンを治療費に充てた。支出先はまちまちだが、公的機関にアクセスできる農民は農業や養鶏に投資するケースが多い。各農村融資機関の特徴は以下の通りである。

表6 各農村融資機関の特徴

融資機関	利息 (月%)	利点・欠点
ヴェトナム農業銀行	0.8 (半年) 1.2 (一年)	融資は農業に関するものに限られる。担保を必要とするために貧困層への融資は難しい。
ヴェトナム貧困銀行	0.6	農業生産に対する融資に限定されており、貧困層のニーズに必ずしも見合っていない。政府からの財政資金による補助は減少しつつあり、調達資金に占める貯蓄・預金の割合は高くなっている。一方、人民委員会や、女性同盟、農民組合などの農村の大衆組織の業務に深く関わっている。
人民信用基金	1.5	ほとんどの融資は短期間であるが、承認が早い。

この公的融資機関の問題は以下の通りである。

- 大衆組織からの融資はメンバーに限られるが、多くの貧しい女性は女性同盟のメンバーではないので融資を受けられない。
- 借金を抱えている人は、融資を受けることはできない。
- いくつかの人は公的融資の利用方法を知らない。
- 融資を受けるまでの事務処理期間が長く、数ヶ月かかる場合もある。
- どの融資機関からの返済期間も最長で一年間と短く、融資額(200-300万ドン)が少ない。このため、農業に投資した場合、返済するだけの利益が期間内に得られない。
- 最も不安定な収入で、貯蓄する能力がない最貧困層は、利率の低い公的融資を利用する割合が最も低い。

(2) 個人的な融資

貧困層にとっては、親類や隣人などからの融資が重要な融資源となっている。親類から借金する場合利息はないか低いが、親類自体も貧しい場合が多く、お金を借りたとしても金額が少ない。主な用途は、収入が低い雨季や賃金労働などの仕事が見つからないときに、コメなどの食料を確保するためである。隣人から借金する場合、利息はその経済状態によって変わるが、15-30%が普通で、最も高くて50%であった。

(3) 低い貯蓄能力

貧困層は貯蓄ができないため、農業などの事業に投資する余裕がなく、生産性は低いままにとどまっている。その結果、余剰生産物は生まれず、収入を向上させることも難しい。さらに財務管理の経験がないために、悪天候による収穫ゼロといった不測の事態に対応できず、支払い不能となり、土地を失うなどの悪循環となっている。銀行の預金回収業務がないため、人々は自分で銀行へ行かなければならず、銀行へ行くまでの交通費や、書類を書く労力など多くの経費と手間がかかる（申請しても、土地の証書がないなど担保の欠如のために拒否されることもある）。

4-3 劣悪な保健衛生

劣悪な保健衛生は、両村・コミュニティにおける貧困の主な原因である。これは、以下のような結果を招く。

- 子供が病気になったり、弱かったりするので退学率が高くなる
- 治療費を得るために返済見込みのない借金をする
- 病気などのために賃金労働が出来なくなる
- 賃金労働をしても生産性が低いため賃金が低くなる。

4-3-1 一般的な病気

マラリア、下痢、肺炎、栄養失調などがこの地域で一般的な病気である。1997年に、チュオン・シュアンコミュニティでは16%（333人）1998年には、10%（171人）の住民がマラリアに感染した。また、子供を中心として、5%（102人）は下痢、7%（138人）は肺炎にかかっている。洪水が発生し、食料が不足する9月から11月にかけて病気にかかり易い。ナム・ハイ村では、下痢、栄養失調に加えてガンの発生率が高い。医学的に証明されているわけではないが、アメリカとの戦争で散布された枯葉剤の影響と考えられている。

4-3-2 低水準の医療サービスとアクセスの難しさ

各コミュニティに一ヶ所コミュニティの医療センターがあるにもかかわらず、医療サービスの質は悪い。看護婦や医療スタッフは十分な研修を受けておらず、一般的な病気の知識しかないので、十分な診断をすることなく医薬品を提供するが多い。

（1）医療センターまでの距離

医療センターはコミュニティの中心にあり、一部の村からかなり遠く、特に移動が難しい雨季にこれが死亡原因となる場合もある。2年前に夫を亡くした夫人へのインタビューによると、夫がマラリアにかかった際に、病院に連れて行くことが出来なかったために死んでしまったという。訪問医療サービスがなく、運搬車を持たない貧しい人々にとっては5kmの道のりを歩

くのは不可能であった。チュオン・シュアンの場合、図2に見られるようにコミュニンの中心部にキン族、最も離れた地域にヴァン・キウ族が居住している。したがって、ヴェン・キウ族の医療へのアクセスの機会は限られている。

(2) 財政不足

貧困層にとって、最も深刻な問題は治療費が払えず、医薬品を購入するだけの収入がないことである。特に、子供が多い場合は深刻である。ナム・ハイ村のある世帯では、以前コミュニティー医療センターで滞納していた(3万ドン)という理由で、薬を売ってもらえず、隣のコミューンまで薬を買いに行かなければならなかった。また、昨年息子が病気になったため、牛を200万ドンで売り、医薬品の購入に充てた。

(3) 政府の医療サービス・プログラム

- 3ヶ月に一度、郡人民委員会の保健局からコミュニンの医療センターに定期的に巡回指導を行っている。
- 3才までのすべての児童に、はしか、ポリオ、結核、百日ぜき、破傷風、ジフテリアの予防接種を無料で提供している
- チュオン・シュアンコミューンでは、マラリア感染を防止するために、貧困層には蚊帳を無料で提供し、スプレーをまくサービスを行っており、医薬品も無料である。
- 最貧困層は医療保健カードを受けることができ、治療や入院費が無料となる。しかし、この有効期限は一年間のみである。
- 女性同盟と協力して、家族計画に関する情報提供を行い、IUDを無料で提供し、女性が不妊手術を行う場合、12万ドンを供与する。
- チュオン・シュアンなどの山地のコミューンに対しては、省が医療スタッフを派遣し、有給の医療スタッフ(給与は月4万ドン)を配置している。ヴァン・ニンコミューンにも村に医療スタッフがいるが、無給である。
- 1998年、干ばつの影響から、政府は貧困層に1-2kgのコメを無料で提供した。

4-3-3 健康に関する不十分な情報と知識

多数の人々は、治療を受けず家で療養するか、薬剤師のいない薬局で薬を買い、コミュニティの医療センターに行く人は少ない。健康に関する不十分な情報が引き起こす問題は、以下の通りである。

- 診療に関する正しい知識を持っておらず、病気の深刻さを認識していない
- 広範囲にわたる病気の治療についての十分な知識がない
- 診療費が無料であっても、医療センターに行かない場合もあり、しばしば病状を悪化させる原因にもなっている。

4-3-4 貧しい栄養と十分な食料

十分な栄養と食料は特に乳幼児に必要とされている。昨年、チュオン・シュアンコミュニティでは、キン族の20%、ヴァン・キウ族の70%の子供が栄養失調であった。この原因は、以下の通りである。

- 収入が少なく、食料が十分でない（例えば、保有しているブタなどは、収入源であるため家庭消費用ではない）
- さまざまな種類の食料からバランスのある栄養価を摂取しなければならないという理解や知識が不足している
- 衛生に対する知識が不足している
- 安全な水への知識とアクセスが不足している
- 衛生的なトイレの普及が遅れている

4-3-5 衛生状況

不適切な衛生管理は、人々の健康と密接な関係があり、主な問題は以下の通りである。

(1) トイレと衛生目的の自然環境

人々は、水路や池のような水源の上に竹をおいて作られたものや、畑の中に丸い石を置き、トイレとして使用している。しかし、これらの「トイレ」も持っていない人々がほとんどである。

(2) 不十分な水

ほとんどの人が井戸を持っているナム・ハイ村に比べて、キエット・タン村では、女性や子供が生活用水を汲みに行く時間と労力が非常に大きく、衛生目的で手を洗うことが少ない。その他、入浴にも運河や川からの不衛生な水を使用するが多い。

(3) 安全な水へのアクセス

雨季の間、多くの世帯は雨水に依存しているが、乾季には水を得るのが困難である。ナム・ハイ村ではほとんどの家族が井戸を持っているが、安全な水に対する認識はあまりない。一方で、キエット・タイ村の最貧困層は水を購入するお金もなく、衛生的でない川の水をそのまま利用する。両村の多くの貧困層は乾季になると水売り業者から安全な水を買うか(20リットルあたり2万ドン)、街に水を汲みに行く。キエット・タイ村の住民は3-4km離れた場所まで水を汲みに行く。

(4) 衛生に関する不十分な知識

ほとんどの人が石鹼などの使用による衛生面から病気の発生防止を意識していない。衛生に関する教育や啓蒙活動は学校教育の中で行われておらず、地域組織やNGOを含むドナーによる活動もない。

4-3-6 労働条件・環境

一般的に、長時間の農作業や薪拾いは、健康を害する主な要因である。特に、土地なし農民による農作業は、過酷な肉体労働が多く、また泥に入っている時間が長いので感染症にかかる場合が多い。森林伐採や薪拾いの作業中に、マラリアに感染する場合は多い。

4-3-7 家族の数

家族の数が多く、5人以上の子供がおり、特に幼い子供が多い家族は最貧困層に多く見受けられる。母親は出産間隔が短く、体が弱っている場合が多い。子育てのために母親は、生産活動に従事することが十分にできず、家族が生計を立てるのに十分な収入を得ることが出来ない。子供を多く持つ理由は、以下の通りである。

- 息子を持つ、大家族が良いという文化的な考え方
- より多くの労働力を備える必要性
- 情報不足、避妊具不足により家族計画を実施しない。これに対し、女性同盟は家族計画の実施を促している。
- IUD や不妊手術によって生じる傷害への恐れ
- 早婚

4-4 不十分な教育へのアクセス、

4-4-1 教育の予算源

中央政府は教師の給与のみ提供しており、教室を建設・修理したりするための労働力は郡人民委員会と父母が提供する。父母らは教材を購入するための献金もしなければならず、授業料は無料だが、家計に占める教育費の割合は大きい。父母会(Parents' Association)が修理などのために会議を開き、役割分担をする。チュオン・シュアン村の一年生の生徒を持つ両親は、昨年一年間に4万ドン、2-6年生では30万ドン、7年生では2万5000ドン、8-9年生では2万ドンの献金をした。

4-4-2 低い出席率と低い教育の質

両村における教育に関する問題は、小・中学校を含めた生徒の低い出席率と、中学校のレベルでの低い就学率と高い退学率である。1998年にチュオン・シュアンコミュニティでの6-14才の生徒の就学率は87%であった。以下が、低い出席率の原因と考えられる。

- 生活に必要な所得を確保するために、労働力を必要とする
- コミューンの人々の生活水準の低さからくる教育費負担の大きさ
- 教科書代、制服代、学校建設などの費用がかかるために、貧困家庭では子供達の教育を諦めざるを得ない。(ナム・ハイ村では、4人子供がいる家庭では、昨年年間教育費に一人25万ドンかかった。)
- 教室が不足しており、特に遠隔地の生徒が教育を受ける機会が少ない。
- 家から学校までの距離が遠い(多くのヴァン・キウ族は3、4年の授業を受けることが出来ない。)
- 学校の道具や実験室(中学校)などのようなインフラの未整備
- 資格のある教師の不足
- 体が弱く、病気の子供がいること

4-4-3 貧困と低出席率の関連性

非識字、低い就学率と貧困は直接的には関連がないが、調査対象者のほとんどは、低い教育レベルは重要な問題であると考えており、貧しいながらも子供を就学させたいという希望は強い。その理由は以下の通りである。

- 教育の低い人々は村の発展に貢献しない
- 教育を受けていない人々は将来の機会が少ない
- 子供に教育を受けさせることは、両親にとって将来、より多くの収入を得、よい生活にするための投資である
- 教育を受けた子供は両親に知識を伝えることができる
- 非識字と低い教育レベルの人々は医療、保健、育児、農業技術などについて学習する機会が少ない
- 非識字の両親は子供を教育する機会が少ない

4-5 戦争の影響

ベトナム戦争の影響は、現在でも大きい。同省は南北ベトナムの激戦地であったこともあり、戦時中に社会経済インフラ、家屋や資産など完全に破壊された。戦時中にはほとんどの人が移動を強いられ、農地は使われていなかった。戦後も財政難のために土地の質は改善されていない。特にこの傾向はヴァン・ニンコミュンにおいて多く見られた。

4-5-1 女性世帯主

ナム・ハイ村の多くの人々は戦時中に亡くなっており、そのほとんどが男性であった。したがって父親や夫のいない家庭が多い。戦争による負傷者をかかえている家族は生活状況が厳しく、貧困を克服することは難しい。現在、ナム・ハイコミュンにおいては、戦傷者が64人おり、戦争により夫をなくした世帯が135戸ある。57才のある女性は、夫が負傷して帰還した後にすぐ病気で死亡し、その後5人の子供を育てのに非常に厳しい生活を強いられている。

4-5-2 病気

戦傷者の多くの人々が、身体的、精神的に病気を負っており、家族の介護が必要となっている。枯葉剤の影響により、障害を持った子供が多い。これに対し政府は、戦争で夫や息子を亡くした世帯に対して月に7万2000ドンを提供している。加えて、傷病兵組合や女性同盟のような大衆組織から食料品などの寄付を受けている。ヴァン・ニンコミュンの人民委員会では精神的な障害を持っている人を支援するための訓練コースを設けているが、財政難のためにサービスの質は十分ではない。

4-5-3 不発弾の恐れ

ナム・ハイ村では、現在でも、戦時中に使用された不発弾が農地に埋まっている。その辺りで遊んでいた子供がこれに触れて亡くなるという事故が過去5年以内に8件あった。

5. 結論

5-1 援助の機会と制約

機会は以下の通りである。

- 貧困対策の観点から、特に貧困層、低い教育レベル、援助のニーズは非常に高い。
- 利用できる資源・組織（大衆組織など）がある
- ヴァン・ニンコミュニティにはほとんど援助団体が活動していない
- すべてのレベルにおいて政府からの予算が不足している
- すべてのレベルで政府関係者は協力的である
- 女性同盟の活動は活発である

制約は以下の通りである。

- クアン・ビン省の場合、ハノイから車で10時間、飛行機を使っても6時間かかる。また、ヴァン・ニンコミュニティの場合、郡の中心部から1時間以上かかる。今回調査対象ではなかったが、国の最貧困コミュニティであるミン・ホア、ツアン・ホア郡は幹線道路から離れており、道路が整備されておらず、アクセスが困難である。
- 地方政府の能力が限られている。援助プロジェクトのニーズは高いが、ハード中心のものが多く、よく聞かれたのは「水源が確保され、灌漑施設が整備されればすべての問題は解決される」との意見であった。しかし、運営維持管理の問題などのソフト面の認識が低い。実際、ICCO へのインタビューによると、貯水池の建設は生活の向上をもたらしているが、運営維持管理に問題があり、地方政府の職員のこの問題に関する意識と参加の度合いは低い。
- クアン・ビン省は国内でも自然条件が最も厳しいとされており、ラオスからの南西風による高温、乾燥、洪水、干ばつなどによる被害が大きい。
- 少数民族とキン族との民族的な意識、言葉の違い。

5-2 開発の課題

5-2-1 貧困を緩和するためには、災害に備えた貯蓄ができるように、一年を通して安定した収入源を確保しなければならない。

(1) 賃金労働の依存度を軽減するためには収入源の多様化を図るためには以下の様な活動が考えられる。

- 非農業分野からの所得を拡大する（家畜、漁業、工芸など）。これにより人々は、
 - ・ 雨季の間の収入源を確保し、（特に、賃金労働者の場合）
 - ・ 将来の生活を計画できるような安定した収入を得ると同時に預金をすることができる

- 土地の塩類集積による影響を軽減し、塩水を含んだ土地を長期的に安定して利用をする。これは人々が、
 - ・ 長期的に生産的な土地利用ができ、
 - ・ 土地のを改善するための労働、時間、資金を投資できる可能性を持ち、
 - ・ 技術的な向上を通して、土地の生産性を向上させ、
 - ・ 生産物から利益を得るための能力を向上させる

(2) 貯蓄する力を高めるためには、以下のような活動が考えられる。

- まず最初に、病気などのような不測の事態を避けるような支援をする
- 貯蓄が出来るような収入源を確保する
- 貯蓄のために生産的な投資機会を明らかにし、投資が出来るように支援する（農業普及活動の支援など）

5-2-2 家族やコミュニティの生活に参加し、子供の健康を保障する支援を行うためには、以下のような活動が考えられる。

- 病気の発生率を低下させる（重労働、栄養失調、衛生に関する知識の不足）
- 治療を向上させる（サービスとそのアクセス、医療スタッフの知識や技術）
- 病気の結果として起こる困難な状況を緩和する（主に貯蓄を通して）

5-2-3 子供の教育機会を保障するために、以下の点が必要である。

- 子供を学校に通わせる環境を整える（家庭の経済状況の向上）
- 学校へのアクセスを良くする（交通状況の向上）
- 教育サービスを向上させる（教師、教室、学校）

5-3 JICA の将来の取り組み¹⁵

以上のように、ヴェトナムの最貧困省とされるクアン・ビン省における人々の生活は予想以上に厳しいものであった。繰り返すが、過去2年にわたる干ばつの影響は、人々の生活状況をさらに厳しいものにしており、これは、人々がいかに外的要因に左右されやすいかを示している。しかし、ヴェトナムの中でのクアン・ビン省の開発優先度は高くない。その理由としては、1) この地域が中部の中心地であるフエ、北部の中心地であるハノイの中間に位置し、空港も戦時中に爆撃をうけて修復されていないために交通のアクセスが悪い、2) 開発のポテンシャルが非常に少ない、3) 自然条件が厳しく農業の生産性が低い—ことなどが挙げられる。

「国家飢え撲滅・貧困緩和プログラム」を通して、最貧困コミュニティや少数民族には政府から直接的な支援が行われているが、国も省も慢性的な財政不足を抱えている。実際、実施プロジェクトは各省庁または投資計画省が決定権をもっており、国の中でのクアン・ビン省に対する優先順位は低く、クアン・ビン省が国に要請している案件は採択されにくい。二国間援助においても、同様のことが言える。クアン・ビン省で貧困を引き起こしている複雑の構造を考えると、長期的、短期的な両側面からの取り組みが必要である。

5-3-1 長期的な取り組み

- 包括的な農村開発－JICA としては、ナン・ダンでの農村開発計画や、ドンタップモイで実施しているような農村開発のためのマスタープランを作り、総合的な地域開発を行うことが望ましい。

5-3-2 中・短期的な取り組み

- 農業用水の確保（貯水池の建設など）と灌漑施設の整備（無償資金協力・草の根無償資金協力）－これは省の中でも最もニーズが高い。現在省人民委員会の最重要プロジェクトは、ボ・トラック郡(Bo Trach)にある稲作・トウモロコシ栽培用のタク・チュオイ湖(Thac Chuoi Lake)の建設¹⁵と、クアン・トラック郡(Quang Trach)にあるトウ・チュアン湖(Truong Thuan)やバック・ブック・トロン水路(Bac Vuc Tron)¹⁷の建設である。別添1にあるように、プロジェクトのリストの中でも国の他の地域での水供給、灌漑整備は最優先プロジェクトとなっている。
- 学校建設、小規模な医療センターの建設（無償資金協力、草の根無償資金協力）－を通して¹⁸、ニーズに合ったなども考えられる。
- 農村電化や農村道路の整備（OECF のセクターローン）－特に山岳地域に対するなど生活インフラを整えることが重要である。

村レベルでの調査結果を踏まえ、クアン・ニン郡の開発課題に取り組むためには、開発福祉支援事業や草の根無償資金協力などを通じた支援が考えられる。長期間、小規模で住民レベルで活動をしているローカル NGO や組織に資金援助することは援助の効果を高める意味で重要である。

¹⁵ これは省全体も含めた内容である。

¹⁶ 建設予算は 500 億ドン

¹⁷ 建設予算は 200 億ドン

¹⁸ 地域の優先順位はリストを参照。クワン・ビン省側のこれらの優先地域は添付資料2を参照。しかし、無償資金協力を通しての援助も、設計時にニーズに合ったものなのか運営維持管理が行われるのかなどを調査する、いわゆる「ソフトコンポーネント」が必要である。

- 小規模融資（開発福祉支援）－ほとんどの貧困層は、最も深刻な問題が「投資に必要な資本不足」であると認識しており、有利な融資制度の利用は短・中期的な生活を向上させるのに必要な要素である。農村部において、人々の融資制度の利用は過去5年間で増加しているものの、1) 融資が一度に限られる、2) 返済期間が短い、3) 投資についての支援活動がない－などの理由から人々の生活の向上に貢献するものとはいえない。したがって、融資の回数を増やすこと、返済期間を一年以上にすること、特に農業・養鶏・養豚への投資方法についての支援活動を行うこと、預金率を高めるためのサービスを行うこと、非農業分野における所得向上活動の支援などが必要とされる。
- 保健衛生（開発福祉支援）－最貧困層の多く、特に女性・幼い子供は健康状態に問題を抱えている。これは、1) 厳しい労働条件、2) 衛生に関する知識の不足、3) 栄養不足、4) 質の低い医療サービス－などである。一部の NGO が実施しているように「保健婦の養成」、「幼児検診」、「栄養教育・回復プログラム」などの活動を通して、栄養、保健行政システムを改善することは重要である。
- 教育（開発福祉支援）－1) 特に山岳地域で、学校までの距離が長いこと（これは、栄養不足の生徒にとって労力を要する）、2) カリキュラムが古いこと、3) 教師の質が低く、4) 少数民族を教えることのできる教師の不足、5) 教室や備品が十分でないこと－などへの取り組みが必要である。これも、1) 研修を通じて教師の質を高める、2) 遠隔地・山岳地域に分校（Satellite school）を建設する、3) 教材やカリキュラムの見直しを図る－などが考えられる。

「貧困の悪循環」を断ち切るには、上記のように、長期的な包括的な視野と、中・短期的に小規模で実施できることを相互補完させつつ開発を進めていくことが必要である。開発を持続的なものにするためには、プロジェクトの形成や実施段階において、受益者の真の問題点、ニーズや能力をしっかりと把握する「参加型アプローチ」が必要である。この意味において、ベトナムでの援助供与団体の中でも JICA への期待は大きい。クアン・ビン省への援助を考えた場合、開発福祉支援や草の根無償資金協力を通して、ローカル NGO への資金提供が現実的に可能であり、受益者への援助の効果が表れやすいと考えられる。

6. 参考文献

FAO, 1996, *Agricultural Resources Conservation and Development Project in Quang Binh Province*, FAO, Hanoi

Oxfam Great Britain, 1998, *Education for Poor Children: Research Findings from Lao Cai Province*, Viet Nam, Hanoi

Oxfam UK& Ireland, 1997, *The Way to School in Duyen Hai: Education Issues in a Mekong Delta District*, Hanoi

Oxfam Great Britain, Save the Children, UNICEF, 1998, *Beyond 20/20 The Vulnerable Family-Challenges for Education: A Case Study from Viet Nam*, Hanoi

Socialist Republic of Vietnam, 1995, *Socio-Economic Development and Investment Requirements for the Five Years 1996-2000*, Hanoi

UNDP, 1998, *Strengthening Capacity for the Renewal of Rural Development in Viet Nam (Phase 1): Mapping Poverty and Agro-Ecological Potential in Viet Nam*, Hanoi

UN, 1998, *Expanding Choices for the Rural Poor: Human Development in Viet Nam*, Hanoi

UNDP, 1996, *Catching Up: Capacity Development for Poverty Elimination in Viet Nam*, Hanoi

UNDP, UNFPA, UNICEF, 1995, *Poverty Elimination in Viet Nam*, Hanoi

The World Bank, 1999, *Poverty in Viet Nam: A Literature Review (Draft)*, Hanoi

The World Bank, 1998, *Viet Nam: Advancing Rural Development from Vision to Action*, Hanoi

The World Bank, 1997, *Vietnam: Country Assistance Strategy of the World Bank Group: 1999-2000*, Hanoi

The World Bank, 1996, *Vietnam: Education Financing Sector Study*, The World Bank, Washington DC

国際協力事業団・投資計画省、1998、『ヴェトナム国市場経済化支援開発政策調査（第2フェーズ）』、国際協力事業団

国際協力事業団、1997、『中部重点地域総合社会経済開発計画調査』、国際協力事業団

別添1 クアン・ビン省のプロジェクトリスト

プロジェクト名	対象地域コミューン (郡)
小中学校建設	<ol style="list-style-type: none"> 1. Dan Hoa, Hoa thanh, Hoa Phuc, thuong Hoa, Hong Hoa (ミン・ホア郡) 2. Lam Hoa, Thanh Hoa, Huong Hoa, Cao Quang, Ngu Hoa (ツアン・ホア郡) 3. Thong Trach Tan Trach (ボ・トラク郡) 4. Truong Son, Truong Xuan (クアン・ニン郡) 5. Kim thuy, Ngan Thuy (レチュイ郡) 6. Thuan Duc (ドン・ホイ) 7. Phuc Trach Xuan Trach, Lam Trach, Son Loc (ボ・トラク郡) 8. Quang dong, Quang Hop, Thanh Hoa, Quang Chau, Quang Kim (クアン・トラク郡) 9. Hai Ninh (クアン・ニン郡) 10. Hai Thuy, Ngu Hoa (レチュイ郡)
医療センター建設	<ol style="list-style-type: none"> 1. Dan Hoa, Hoa thanh, Thuong Hoa, Minh Hoa, Tan Hoa (ミン・ホア郡) 2. Lam Hoa, Huong Hoa, Le Hoa, Cao Quang (ツアン・ホア郡) 3. Thuong Trach, Tan Trach (ボ・トラク郡) 4. Truong Son, Truong Xuan (クアン・ニン郡) 5. Kim Thuy, Ngan Thuy (レ・チュイ郡) 6. Thuan Duc (ドン・ホイ) 7. Quang Hop, Quang dong, Quang Kim (クラン・トラク郡) 8. Phuc Trach, Son Loc (ボ・トラク郡) 9. Hai Thuy, Ngu Hoa (レ・チュイ郡)
交通・道路	<ol style="list-style-type: none"> 1. Thuong Hoa, Tan Kieu, Da Nang (ミン・ホア郡) 2. Th. Lang, Huong Hoa, Phong Hoa, Ha Truang, Tien Hoa, Kinh chau (ツアン・ホア郡) 3. Tam Trang, Bong Lai, Ba Trai (ボ・トラク郡) 4. Rao Tru (クアン・ニン郡) 5. Truong Thuy, Kim Thuy (レ・チュイ郡) 6. Quang Thach, Quang Tien (クアン・トラク郡) 7. Ha, Ray Cau, (ドン・ホイ) 8. Luong Yen, W. Xa, Loc Long (クアン・ニン郡)
電気・送電線	<ol style="list-style-type: none"> 1. Xa Hoa Hop, Xa Hoa Tien, Xa Hoa Thanh, Xa Hong Hoa, Xa Trung Hoa, Xa Tan Hoa (ミン・ホア郡) 2. Xa Huong Hoa, Xa Thanh Hoa, Xa Lam Hoa, Xa Kim Hoa, Xa Cao Quang (ツアン・ホア郡) 3. Xa Truong Xuan (クアン・ニン郡) 4. Xa Hai Thuy, Xa Ngu Thuy, Xa Ngu Hoa (レ・チュイ郡) 5. Xa Quang Hop, Xa Quang Dong, Xa Quang Tien, Xa Quang Thach, Xa Quang Chau, Xa Lien Trach, Xa Son Trach Xa Lam Trach, Xa Son Loc (クラン・トラク郡)

灌漑	<ol style="list-style-type: none"> 1. Ba nuong 人工水路 (ミン・ホア郡) 2. Khe Gioi ダム (ミン・ホア郡) 3. Dap Be 人工水路 (クアン・ニン郡) 4. Khe Nam ダム (ツアン・ホア郡) 5. Phong Nha ポンプ (ボ・トラク郡) 6. Rao Da 湖 (クアン・ニン郡) 7. Truong Thuan 湖 (クラン・トラク郡) 8. Bac vuc Tron 湖 (クラン・トラク郡) 9. Dau Ngon 湖 (ボ・トラク郡) 10. Khe Lau 湖 (ボ・トラク郡) 11. Da Mai 人工水路 (ボ・トラク郡) 12. Ho Phu Vinh 人工水路 (ドン・ホイ) 13. Hoa-Van 灌漑施設整備 (クアン・ニン郡) 14. An-Tan 灌漑施設整備 (クアン・ニン郡) 15. Thanh Son 人工水路 (レ・チュイ郡) 16. Thuong My Trun 灌漑施設整備 (レ・チュイ郡) 17. Phu Hoa 湖 (レ・チュイ郡) 18. Bang 湖 (レ・チュイ郡) 19. Thac Chuoi 湖 (ボ・トラク郡)
水供給・排水設備	<ol style="list-style-type: none"> 1. Quy Dat (ミン・ホア郡) 2. Hoan Lao (ボ・トラク郡) 3. Dong Hoi (ドン・ホイ)

